

# 2023 年度 通常総会議事資料

<2023 年 6 月 18 日>

## <議 事>

- 1 日 時 2023 年 6 月 18 日（日） 14:00～16:30 （受付開始 13:30）
- 2 会 場 名古屋国際会議場  
名古屋市熱田区（オンラインは視聴のみ）
- 3 付議事項 第一号議案 2022 年度事業報告並びに決算及び監査報告について  
第二号議案 2023 年度事業計画並びに予算について  
第三号議案 2023 年度役員を選任について

特定非営利活動法人

日本ファシリテーション協会

<第一号議案> 2022年度事業報告並びに決算及び監査報告について

(普通決議：総会に出席した正会員の過半数による議決)

## 2022年度事業報告

2022年4月1日から2023年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

2022年度は、ウィズコロナの状況は続きつつも、感染対策の緩和も踏まえ、対面での活動が各事業とも戻りつつあります。コロナ禍でのオンライン、ハイブリッドでの対話などの場での活動経験や知見も活かしつつ、これからのFAJの活動を模索し、工夫を重ねることとなりました。また、次年度(2023年度)に控えたFAJ設立20周年に向けた交流と対話から、新たな可能性や動きが生まれる一年となりました。

**調査・研究事業：**定例会、例会等において、オンライン、対面、ハイブリッドと多様な形態でFAJ内外のファシリテーターとの研鑽、探究の場づくりを行いました。

**教育・普及事業：**コロナ感染状況の緩和をふまえ、開催時の判断フローを作成し、「コロナ感染症対策版」を「通常版」に変更して開催しました。

**支援・助言事業：**社会課題の解決や新しい社会の創造に関わる様々な個人・団体の要請に対して、ファシリテーションを活用した支援を行いました。被災者・復興支援に尽力し、災害復興や防災活動の意義を深める機会を設けました。

**交流・親睦事業：**地域イベントの開催、海外のファシリテーターとの交流や知見の共有などを通じて、国境・文化を越えた交流を深めました。

**広報・コミュニケーション活動：**将来の会員や支援先、協働パートナーを見据えた広報を展開し、情報発信強化のためのホームページ(HP)改革に着手しました。

**ミッションおよび組織運営に関わる活動：**拠点や普段の活動領域の枠を越えた繋がりを新たな対面の場でも活かしながら活動しました。ビジョン作成など新たな可能性に向けた組織づくりの取り組みができました。

以下、事業計画に沿って、事業の概要を報告します(括弧内は担当組織を表します)。

### 1 ファシリテーション技術の確立や新しい技術の開発を目指す調査・研究事業

#### 1) 実践力の相互研鑽の場作りの推進(理事会、各支部運営委員会)

- 各拠点において、コロナの感染状況やワーク内容などを踏まえつつ、オンライン、対面、ハイブリッドと多様な形態で継続的に定例会・例会を開催しました。
- 外部団体との共催定例会、支部、サロン間での合同オンライン開催など、各拠点でバラエティに富んだファシリテーション探究の場を開催しました。

#### 2) ファシリテーションの本質を研究(理事会、イベント実行委員会)

- 「議論を問い直す」をコンセプトに、全国イベント「ファシリテーション・サミット東京2022」を実施し299人(FAJ会員233人、非会員66人)が参加しました。協会内にとどまらず

開かれたファシリテーション探究の場であることを意識し、26の外部団体にも参加いただき開催しました。

## 2 ファシリテーター養成や実践方法の普及を目指す教育・普及事業

### 1) 従来の公開セミナーの継続強化（公開セミナー委員会）

- コロナ感染状況の緩和をふまえ、「コロナ感染症対策版」からグループワークが実施できる本来の「通常版」に変更し、14会場20クラス開催しました。また、講座参加者の振り返りの場である「アフターミーティング」をオンライン開催で全国から参加できるように変更し、3回実施しました。
- 開催時の判断フローを作成し、「どのタイミングで」「どのような状態」であれば『通常版』『コロナ感染症対策版』いずれで開催するのか、を明確にしました。
- 年2回のペースで開催している講師トライアルは、2023年1月は挑戦者の申し込みがなく開催中止になりました。実践講座の講師選定基準、プロセスを策定しました。

### 2) 公開セミナーの新たな展開（理事会、公開セミナー委員会）

- 前年度から導入したオンライン開催は、運営体制を整え、3会場5クラス開催しました。
- 東京にて実践講座を1回開催しました。また、来期実践講座開催数増のため、アソシエイト対象のパイロットを実施し、来期運営体制の準備を行いました。
- 大阪と東京にて特別講座パイロットを計2回実施しました。

## 3 各種団体におけるファシリテーションの活用をサポートする支援・助言事業

### 1) 社会からの多様な要請に対する支援の充実（ファシリテーションサポート委員会）

- 外部からの問い合わせは46件でした。ヒアリングは、Zoomを活用して複数人でチーム対応することで、丁寧なヒアリング対応とコーディネーション力の強化を図りました。実施した支援件数は20件（47回）になり、案件の実施にあたっては各拠点からのメインファシリテーター（MF）・サブファシリテーター（SF）の推薦にもとづき、新たな人材に担当してもらいました。
- 社会から要請される多様なニーズに対して支援をしました。特に、教育分野（大学・高校など）や医療・福祉・行政分野ではFAJならではの事例がありました。
- 6月の東京サミットにおいて「ファシリテーションサポート委員会の活動：2021年までを振り返る」のタイトルで発表をしました。また、委員会のHP更新に取り掛かりました。

### 2) 災害復興・防災・減災に関するファシリテーションを通じた支援（災害復興委員会）

- 南相馬市では、被災者支援のための連携会議等の進行と板書を支援しました。また、熱海市では伊豆山土石流災害の会議支援を継続するとともに、復興まちづくりワークショップの運営を支援し、効果的な被災者・復興支援に尽力しました。
- 話し合う力養成講座や板書ボランティア勉強会を実施し、人材の育成・学び合いをFAJ会員・一般の方と共に進めました。災害支援や防災に関わる方々のコミュニティに、継続して講座などの情報提供をしました。
- 定例会や報告会を通して、災害復興や防災活動の意義を深める機会を作りました。また、内閣府主催の三者連携研修会に引き続き協力しました。

#### 4 ファシリテーターや関連団体間の親睦を図る交流・親睦事業

##### 1) 地域イベントを開催（各支部運営委員会、地域イベント実行委員会）

- 東北支部、関西支部及び中部支部において地域イベントを開催し、FAJ内外の交流を促進しました。

##### 2) 国境や文化・言語を越えてつなげる活動強化

（理事会、グローバルファシリテーション推進委員会）

- 文化や国境を越えたファシリテーションへの理解と議論を深めるため、IAF Japanの協業によるフィンランド式ファシリテーションや、「科学技術の社会実装」や「合意形成の倫理」のテーマをもって、定例会において活動展開をしました。
- オンラインの世界・カフェをFAJグローバル委員会とIAF日本支部のコラボ企画で定期的で開催しました。国内はもとより海外からも多くの有志が参加しました。

##### 3) 他団体との連携強化（理事会、各支部運営委員会、事務局）

- 宮城県教育委員会との共催支部イベント（東北）や、名古屋市教育委員会などの後援や協力を得た支部イベント（中部）、経営学習研究所との共催イベントに加えて、他団体との共催による定例会などを行いました。
- 「2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）」の共創パートナーとしての活動を「協働促進プログラム」のプロジェクトとして行うこととしました。

#### 5 広報・コミュニケーション活動

##### 1) FAJ内への情報発信の強化（理事会、広報委員会）

- ニュースレターのコンテンツの充実に取り組みました。フェローへの取材を継続的に行い、これからのFAJへの提言を発信しました。
- 広報委員会主催のイベントとして読書カフェを6回、文章力講座を2回開催しました。

##### 2) FAJ外への情報発信の強化（広報委員会）

- FAJ HPへのアクセス分析の結果、ニーズが高いと考えられるアイスブレイクに関する動画を作成し、コンテンツの充実をはかりました。また、HP改革プロジェクトでは、一般の視点を意識しながら検討しました。
- 主催イベントを活用し、動画コンテンツの更新を進めました。

##### 3) 情報発信に関わる運営の強化（広報委員会）

- 委員外のメンバーも広く巻き込んで、委員会内にHP改革プロジェクトを立ち上げました。継続的なアップデートに努めました。

#### 6 ミッションおよび組織運営に関わる活動

##### 1) 組織のあり方と運営のやり方の検討（理事会、各拠点、事務局）

- 「2021年の実施を含め合計8回のビジョンワークより集めたビジョンステートメント」「2022年のファシリテーション・サミットでの意見収集」「第一線で活躍する著名な外部ファシリテーターへのインタビュー」の3つのインプットをもとに各拠点より集まったメンバーがビジョンを作成し、23年1月の拡大理事会で発表しました。
- 「協働促進プログラム」では3つの取り組み（科学技術の社会実装、市民協働実装、大阪・関西万博）を試行プロジェクトと位置づけました。一般社団法人グラミン日本との協働プロジェクトを新たに開始しました。併せて、プログラムの活動を通じて「共通の目的を有する会員・

各種団体との価値を創出する」仕組み（規程など）の検討を行いました。

## 2) 組織運営のやり方の検討（理事会、各拠点、事務局）

- 会計業務についての説明会を行い、円滑に業務遂行ができるように理解促進を行いました。
- 現状に対応した収支構造の見直しを検討しました。
- 拡大理事会で拠点・サロン間及び理事会とのコミュニケーションを促進しました。オンライン1回、対面2回実施し、組織の現状を共有し20周年に向けての取り組みを考えました。
- 理事が積極的に訪問し、各拠点・サロンと直接コミュニケーションを取ることで現状の課題把握、活動促進などを行いました。
- 議事録発行が滞り、会員より開示請求を受ける事態に至りました。

## 3) 拠点運営のサポートの充実とデジタル化の推進（デジタル推進委員会）

- G-suite運用整理を実施しました。メール送受信トラブルについて検証しました。
- 各拠点の活動の活性化を図るためのデジタル領域の運用支援を実施しました。拡大理事会で運営会議の動画配信方法を検証実施しました。
- 広報委員会との役割整理を行いました。

## 4) 各種制度改正への対応（理事会、事務局）

- 個人情報に関する規程を見直し、改正を行いました。
- インボイス制度の導入にあたり、適格請求書発行事業者となる手続きを行いました。

I 特定非営利活動に係る事業

1. 調査・研究事業

事業内容	実施日	実施場所	従業者数	受益対象者数		
				会員	一般	
北海道支部 定例会	4月2日	北海道札幌市 札幌市生涯学習総合センター	2	15	4	
	5月7日	北海道札幌市 札幌市生涯学習総合センター	2	15	0	
	6月4日	北海道札幌市 札幌市生涯学習総合センター	2	6	1	
	7月2日	北海道札幌市 札幌市生涯学習総合センター	2	19	1	
	8月6日	北海道札幌市 札幌市生涯学習総合センター	1	16	2	
	9月3日	北海道札幌市 札幌市生涯学習総合センター	1	12	0	
	10月1日	北海道札幌市 札幌市生涯学習総合センター	2	15	2	
	11月5日	北海道札幌市 札幌市生涯学習総合センター	2	8	0	
	12月3日	北海道札幌市 札幌市生涯学習総合センター	2	10	0	
	1月7日	北海道札幌市 札幌市生涯学習総合センター	2	12	0	
	2月4日	北海道札幌市 札幌市生涯学習総合センター	2	28	2	
	(3月)	開催なし		0	0	0
	受益対象者延べ人数					168
北海道支部は、新型コロナウイルス感染対策を行いリアルにこだわり定例会を開催しました。新会員の参加も若干増えて、ファシリテーションを肌で感じながら学び合いました。						
東北支部 定例会	4月2日	宮城県仙台市 仙台市市民活動サポートセンター	4	8	2	
	5月14日	宮城県仙台市 トークネットホール仙台	4	14	4	
	6月4日	宮城県仙台市 エル・ソーラ仙台	3	7	1	
	7月2日	オンライン	2	20	2	
	8月6日	宮城県仙台市 エル・ソーラ仙台	3	26	3	
	9月11日	宮城県仙台市 仙台市市民活動サポートセンターおよびオンライン(9月3日、11日 開催)	10	31	17	
	10月1日	福島県福島市 福島市クリエイティブビジネスサロン	5	5	7	
	11月5日	宮城県仙台市 宮城県立美術館およびトークネットホール仙台	3	4	1	
	12月4日	宮城県仙台市 トークネットホール仙台	5	7	2	
	(1月)	開催なし	0	0	0	
	2月4日	宮城県仙台市 トークネットホール仙台	3	10	4	
	3月4日	宮城県仙台市 仙台市市民活動サポートセンター	3	10	5	
	受益対象者延べ人数					190
2022年度は「アクション！」をスローガンにみんなでいろんなことに挑戦しようとスタートしました。定例会の月2回、福島での開催、そして、定例会と支部イベントの連日開催などたくさんチャレンジした1年となりました。						
東京支部 定例会	4月23日	オンライン	7	44	0	
	5月29日	オンライン(5月28日、29日 開催)	19	48	8	
	6月25日	オンライン	9	21	1	
	7月23日	東京都千代田区 ちよだプラットフォームスクウェア、およびオンライン	17	54	4	
	8月27日	中止	0	0	0	
	9月24日	東京都葛飾区 葛飾シンフォニーヒルズ、およびオンライン	6	28	2	
	10月22日	オンライン	6	47	3	
	11月26日	東京都北区 北とびあ、およびオンライン	8	40	4	
	12月24日	東京都北区 北とびあ、およびオンライン	8	35	1	
	1月28日	東京都台東区 東京文具共和会館、およびオンライン(1月11日、22日、28日 開催)	16	65	12	
	2月25日	東京都北区 北トピア	8	27	4	
	3月25日	東京都葛飾区 葛飾シンフォニーヒルズ、およびオンライン	16	70	7	
	受益対象者延べ人数					525

東京支部 定例会	2021年度に続き、2022年度も参加者は減少した。加えて企画者も減少。オンラインによる定例会は手軽に参加できる一方、ファシリテーションの学び以外の付帯的なベネフィット（例：人脈づくり）を享受しにくい。それが定例会がオンラインになり参加者が一時的増加したものの、次第に減少に転じた原因であると推測している。				
中部支部 定例会	4月17日	オンライン（4月9日、17日 開催）	7	30	0
	5月22日	三重県松坂市 希望の園およびオンライン（5月7日、21、22日 開催）	9	39	1
	6月25日	愛知県名古屋市 ウィンクあいち、およびオンライン（6月19日、25日 開催）	7	17	1
	7月24日	愛知県名古屋市 名古屋工業大学、およびオンライン（7月3日、7日、16日、24日 開催）	14	60	46
	8月21日	オンライン	3	16	1
	9月25日	オンライン（9月4日、17日、22日、25日 開催）	15	107	12
	10月15日	愛知県名古屋市 貸し会議室イールーム名古屋駅前A、および名古屋港湾会館（10月8日、15日 開催）	9	27	9
	11月19日	愛知県名古屋市 名古屋工業大学、およびオンライン（11月5日、19日 開催）	5	30	5
	12月17日	愛知県名古屋市 名古屋国際会議場 ※12月10日実施分は支部合同開催欄参照	7	10	0
	1月28日	愛知県名古屋市 西川流会館および東生涯学習センター およびオンライン（1月21日、22日、28日 開催）	9	51	28
	2月18日	愛知県名古屋市 中生涯学習センターおよびオンライン	5	26	5
	3月19日	愛知県名古屋市 西川会館、およびオンライン（3月18日、19日開催）	7	19	4
	受益対象者延べ人数 544				
	2022年度も「調査研究」テーマと「研鑽」テーマという2本立てを基本として定例会を企画・実施しました。コロナが落ち着き、対面開催が増加し、ハイブリッド開催にも積極的に挑戦しました。				
関西支部 定例会	4月9日	兵庫県西宮市 西宮市民会館	8	29	1
	5月15日	兵庫県西宮市 西宮市民会館、およびオンライン（5月8日、14日、15日 開催）	22	70	13
	6月19日	兵庫県西宮市 西宮市民会館	5	12	0
	7月9日	兵庫県西宮市 西宮市民会館	8	15	0
	8月27日	大阪府大阪市 テアトル梅田およびカフェ太陽の塔別館、 オンライン（8月6日、27日 開催）	8	30	1
	9月10日	大阪府大阪市 大阪梅田貸し会議室、および 兵庫県西宮市 西宮市民会館、 オンライン（9月3日、10日 開催）	9	39	0
	10月9日	大阪府大阪市 QUINTBRIDGE、および 兵庫県芦屋市 芦屋市民センター、および オンライン（10月1日、8日、9日 開催）	16	53	37
	11月13日	兵庫県西宮市 西宮市民会館、および 兵庫県尼崎市 尼崎市中小企業センター、および オンライン（11月12日、13日 開催）	22	71	20
	12月30日	兵庫県西宮市 西宮市民会館、および 大阪府大阪市 エマ梅田、および プレミアムホテルCABIN （12月10日、11日、29日、30日 開催） ※12月3日、4日実施分は支部合同開催欄参照	16	39	1
	1月14日	オンライン	5	37	2
	2月12日	兵庫県西宮市 西宮市民会館、および オンライン（2月11日、12日 開催）	13	29	1
	3月11日	オンライン	4	16	0
	受益対象者延べ人数 516				
	「オモロい渦が生まれる場をつくる」の方針のもと、他支部・サロンとの交流や共同企画、外部との共催定例会、3年ぶりの支部イベントなど、FAJ内外の方々を巻き込みバラエティに富んだファシリテーション探究の場をつくりあげることができた。				
中国支部 定例会	4月24日	オンライン	3	24	0
	5月22日	オンライン	4	6	6
	(6月)	開催なし	0	0	0
	7月16日	広島県広島市 広島県健康福祉センター	5	6	12
	8月20日	オンライン	4	20	0

中国支部 定例会	9月19日	台風により延期	5	0	0
	10月8日	広島県広島市 広島県健康福祉センター	4	7	7
	11月20日	広島県広島市 エソール広島	4	10	7
	(12月)	※支部合同開催欄参照	-	-	-
	1月21日	広島県広島市 広島県公立大学法人観啓大学	4	5	7
	2月26日	オンライン	9	11	1
	(3月)	開催なし	0	0	0
	受益対象者延べ人数			129	
3年ぶりのリアル定例会再開にあたり感染対策を工夫したり、台風で中止・延期をしながら、安全に定例会を届けることができた。また他支部・他団体との共催や新聞による広報活動等により、新しいつながりが生まれた。					
九州支部 定例会	4月9日	オンライン (4月2日、9日 開催)	7	21	3
	5月14日	オンライン	7	27	4
	6月25日	オンライン	6	34	0
	7月2日	オンライン	4	11	0
	8月6日	オンライン	2	15	0
	9月3日	オンライン	5	9	1
	10月1日	オンライン	5	6	0
	11月5日	オンライン	4	15	0
	(12月)	※支部合同開催欄参照	-	-	-
	1月14日	オンライン	2	16	0
	2月4日	福岡県福岡市 NPO・ボランティア交流センターあすみん	3	6	1
	3月4日	福岡県春日市 春日市立春日東中学校	3	10	61
	受益対象者延べ人数			240	
オンライン開催が続きましたが、12月にはオンラインでしかできないことをやろうということで、関西支部との合同定例会「ファジロック」を開催しました。活動を楽しむ関西支部メンバーの姿勢に大いに触発されました。					
支部合同開催	12月4日	オンライン (12月3日、4日 開催) ※関西・九州合同開催	15	174	13
	12月10日	オンライン ※中国・中部合同開催	6	23	0
受益対象者延べ人数			210		
ファシリテーション ・サミット	6月11日・12日	東京都渋谷区 国立オリンピック記念青少年総合センター およびオンライン	12	233	66
サロンサポート	-	地域型12か所 (秋田、群馬、埼玉、新潟、富山、和歌山、岡山、四国、佐賀、熊本、長崎、沖縄) テーマ型5か所 (ビジネスファシリテーション実践、TOC×Facilitation、オンライン・ファシリテーション研究、行動科学ファシリテーション研究、教育工学ファシリテーション研究)	-	-	-

## 2. 教育・普及事業

事業内容	実施日	実施場所	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
公開セミナー 基礎講座	4月16日	オンライン	14	19	18
	5月21日	東京都台東区 東京文具共和会館	10	6	24
	6月18日	福岡県	中止		
	6月25日	大阪府大阪市 エル・大阪（大阪府立労働センター）	6	6	12
	7月2日	愛知県名古屋市 ウィンクあいち	6	3	7
	7月16日	東京都台東区 東京文具共和会館	10	15	12
	7月23日	宮城県仙台市	中止		
	8月21日	オンライン	12	11	27
	9月17日	東京都台東区 東京文具共和会館	8	8	21
	10月15日	大阪府大阪市 エル・大阪（大阪府立労働センター）	5	4	16
	11月19日	東京都台東区 東京文具共和会館	10	7	33
	11月19日	北海道札幌市	中止		
	12月3日	オンライン	7	8	7
	12月11日	富山県	中止		
	12月17日	沖縄県	中止		
	1月21日	東京都板橋区 ハイライフプラザ	9	3	27
	2月18日	宮城県仙台市 PARM-CITY131 ANNEX	5	7	7
	2月18日	福岡県福岡市 博多バスターミナルビル	4	7	8
	2月18日	北海道札幌市	中止		
	2月25日	兵庫県神戸市	5	7	9
3月5日	愛知県名古屋市 ウィンクあいち	4	10	8	
3月11日	広島県広島市 エソール広島	4	6	4	
3月18日	東京都台東区 東京文具共和会館	8	8	22	
実践編 特別編 特別編	12月3日	東京都墨田区 国際ファッションセンター	7	11	4
	9月10日	大阪府大阪市 ドーンセンター	7	9	1
	3月4日	東京都墨田区 国際ファッションセンター	5	11	3
アフター ミーティング	6月18日	オンライン	3	6	4
	10月15日	オンライン	3	8	6
	2月18日	オンライン	2	0	7
受益対象者延べ人数					467

## 3. 支援・助言事業

事業内容	実施日	実施場所	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
ファシリテーション サポート委員会	4月19日	【オンライン】 ファシリテーション研修	2	0	24
	5月21日	神奈川県横浜市 ファシリテーション研修	2	0	12
	6月14日	北海道長沼町 高校授業	1	0	48
	7月7日	【オンライン】 ファシリテーション研修	2	0	7
	7月28日	神奈川県相模原市 公民館職員向け ファシリテーション基礎	2	0	8
	7月30日	【オンライン】 ファシリテーター養成講座	3	0	18
	8月30日	北海道札幌市 ファシリテーション研修	2	0	52
	8月19日	京都府宇治市 F研修	6	0	13
	8/10他計6回	広島県広島市 ワークショップ	11	0	185
	9/1他計5回	沖縄県那覇市 大学授業	10	0	92
	9/24	富山県砺波市 ファシリテーション研修	1	0	49
	9/28他計8回	群馬県高崎市 大学授業	23	0	224
	9/27他計2回	福岡県福岡市 PTA向けファシリテーション研修	4	2	40
	9月3日	山口県 ファシリテーション研修	1	0	15

ファシリテーション サポート委員会	9月16日	【オンライン】 学生ボランティア研修	1	0	14
	10/6他計2回	東京都千代田区 ファシリテーション実践研修	6	0	180
	10月27日	高島市 ワークショップ	1	0	30
	10月28日	神奈川県茅ヶ崎市 ファシリテーション入門	2	0	16
	11月22日	東京都新宿区 F研修	1	0	23
	11/28他計4回	東京都品川区 ファシリテーション研修	1	0	30
	12月21日	草加市 ファシリテーション研修	2	0	30
	12月23日	大阪府中央区 ケア会議のためのファシリテーション研修	3	0	21
	12/8他計2回	京都市 ファシリテーション活用研修	1	0	28
	2月8日	東京都中野区 ファシリテーション研修	1	0	11
	3月22日	石川県河北郡 教職員向けF研修	1	0	47
	受益対象者延べ人数				
災害復興委員会	4月4日他15日	南相馬市被災者支援のための連携会議	34	1	152
	4月12日	南相馬市調整会議（ブルーシート講習会）	2	0	6
	5月13日	JVOAD全国フォーラム2022	5	0	50
	5月19日他5日	熱海市情報共有会議	12	0	68
	5月20日	日本財団 災害に備えるワークショップ	1	0	53
	5月29日他4日	伊豆山復興まちづくりワークショップ	44	0	117
	6月16日他3日	熱海市伊豆山ささえ逢いセンター連絡会	9	0	45
	11月4日、18日	静岡市被災者支援連携会議	11	0	209
	1月16日	内閣府研修（千葉県）	1	0	27
	1月31日	内閣府研修（徳島県）	1	0	40
	2月6日	内閣府研修（佐賀県）	1	0	25
	2月8日、15日、22日	話し合う力養成講座	21	17	11
	2月9日	内閣府研修（東京都）	1	0	89
	受益対象者延べ人数				

#### 4. 交流・親睦事業

事業内容	実施日	実施場所・実施内容	従業者 数	受益対象者数	
				会員	一般
地域イベント	9月30日	大阪府大阪市 大阪市立総合生涯学習センター 交流親睦「ネットワーク・サロン」 ※関西支部 (大阪市立総合生涯学習センターとの共催)	5	0	7
	11月23日	大阪府大阪市 大阪市立総合生涯学習センター 交流親睦「大阪市立総合生涯学習センター 総合フェスタ2022」への参加 ※関西支部	5	2	38
	2月5日	宮城県仙台市 戦災復興記念館 東北支部イベント「話し合うってなあに?! 合言葉は“ファシリ テーション”!! ~ペン本で話し合いが変わる! ダメダメ会議 よサヨウナラ~」	9	10	28
	3月5日	兵庫県尼崎市 尼崎市中小企業センター 関西支部イベント「「ちゃんと話し合う」ってどういうこと? ~ 映画『こどもかいぎ』を観て考える~」	10	17	17
	3月21日	愛知県名古屋市 名古屋国際センターホール 中部支部イベント「みんなでつくるフラットな話し合い ~クラス会議&ファミリー対話の事例から考える~」	4	11	50
	受益対象者延べ人数				
グローバル 委員会	8月20日	はこだて国際科学祭2022 SFプロトタイピング	5	11	8
	10月25日	World Café Community	3	8	3
	11月27日	科学技術社会論学会年次大会発表	2	10	
	受益対象者延べ人数				

グローバル 委員会		2022年5月14日 九州支部、6月11日ファシリテーションサ ミット、7月2日東北支部へ話題提供を行いました。			
--------------	--	---	--	--	--

#### 5. その他の総合的な事業

事業内容	実施日	実施場所	従業者 数	受益対象者数	
				会員	一般
ニューズレター	年3回	東京都渋谷区 FAJ東京事務所、他全国		約1100	-
ウェブサイト	随時	東京都渋谷区 FAJ東京事務所、他全国		不特定多数	
メーリングリスト SNS	随時	東京都渋谷区 FAJ東京事務所、他全国		約1100	-
広報委員会	4月9日	オンライン 第1回 読書カフェ “「わかりあえない」を超える”	3	35	65
	5月16日	オンライン 文章力講座 (2回シリーズ、5月16日/23日)	2	34	
	6月4日	オンライン 第2回 読書カフェ ”世界の民族超入門”	3	33	18
	8月6日	オンライン 第3回 読書カフェ ”ソーシャルファシリテーション 「どもに社会をつくる関係」をはぐくむ技法	3	38	16
	10月8日	オンライン 第4回 読書カフェ ”宇宙兄弟 今いる仲間であまくいく チームの話 (学研プラス)”	3	40	
	12月3日	オンライン (非会員有料) 取材力・文章力が身につくワークショップ 1) 取材力	2	11	3
	12月10日	オンライン FAJ読書カフェ Vol. 5 「やっぺす！」石巻のおかあさん、 まちづくりに奮闘する	4	10	3
	12月10日	オンライン (非会員有料) 取材力・文章力が身につくワークショップ 2) 文章力	2	10	3
	2月18日	オンライン FAJ読書カフェ Vol. 6 「動機のデザイン ~現場の人とデザイナーが いっしょに歩む共創のプロセス~」	2	31	25
受益対象者延べ人数					375
協働促進 プログラム 準備室		2022年5月28日沖縄サロン、7月9日関西支部、7月23日東京 支部、8月6日九州支部、10月15日中部支部へ話題提供を行 いました。			

## 6. 理事会

事業内容	実施日	実施場所	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
通常総会	6月12日	国立オリンピック記念青少年総合センター	135	-	-
理事会	4月24日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所、および各所オンラインにて実施	11	-	-
	5月22日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所、および各所オンラインにて実施	12	-	-
	7月10日	各所オンラインにて実施	11	-	-
	8月20日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所、および各所オンラインにて実施	11	-	-
	9月18日	広島市内会議室、および各所オンラインにて実施	11	-	-
	10月22日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所、および各所オンラインにて実施	12	-	-
	11月27日	東京都渋谷区 FAJ東京事務所、および各所オンラインにて実施	12	-	-
	12月18日	名古屋市内会議室、および各所オンラインにて実施	12	-	-
	1月28日	大阪市内会議室、および各所オンラインにて実施	12	-	-
	2月18日	大阪府泉佐野市内会議室各所、および各所オンラインにて実施	12	-	-
	拡大理事会	8月21日	各所オンラインにて実施	36	-
10月23日		東京都文京区内会議室	30	-	-
1月29日		大阪市内会議室	39	-	-

## II その他の事業

実施しなかった。

2022年度「特定非営利活動に係る事業」活動計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

科 目	金額（単位：円）		
(資金収支の部)			
I 経常収入の部			
1 会費・入会金収入			
個人会費	10,484,000		
法人会費	0	10,484,000	
2 事業収入			
調査・研究事業収入	1,449,511		
教育・普及事業収入	9,233,500		
支援・助言事業収入	10,434,179		
交流・親睦事業収入	144,550	21,261,740	
3 寄付金収入			
個人寄付金	0		
法人寄付金	0	0	
4 助成金	0	0	
経常収入合計			31,745,740
II 経常支出の部			
1 事業費			
調査・研究事業費	6,172,256		
教育・普及事業費	8,478,252		
支援・助言事業費	5,605,791		
交流・親睦事業費	770,089	21,026,388	
2 管理費			
広報費	55,000		
交通宿泊費	7,062,562		
会議費	556,362		
事務消耗品費	189,014		
通信運搬費	657,172		
諸会費	51,100		
雑費	84,060		
資料印刷費	932,103		
外部委託料	3,501,510		
支払手数料	426,805		
賃借料	1,018,528		
保険料	39,841		
租税公課	245,300	14,819,357	
経常支出合計			35,845,745
経常収支差額			△ 4,100,005
III その他資金収入の部			
その他資金収入合計	6,270	6,270	6,270
IV その他資金支出の部			
その他資金支出合計	0	0	0
当期収支差額			△ 4,093,735
前期繰越収支差額			44,692,086
次期繰越収支差額			40,598,351

2022年度「特定非営利活動に係る事業」活動予算実績対比表

科目	予算	2022年度計	予算差異	予算比	決算内訳											
					北海道	東北	東京	中部	関西	中国	九州	サロン	その他	公開セミナー	ファシサポ	災害復興
(資金収支の部) 経常収入の部 会費・入金収入 個人会費 法人会費	11,500,000	10,484,000	1,016,000	91.17%												
事業収入	11,500,000	10,484,000	1,016,000	91.17%												
調査・研究事業収入	1,926,500	1,449,511	476,989	75.24%												
教育・普及事業収入	12,324,000	9,233,500	3,090,500	74.92%												
支援・助言事業収入	5,166,000	10,434,179	-5,268,179	201.98%												
交流・親睦事業収入	2,174,500	144,550	2,029,950	6.65%												
寄付金収入 寄付金	21,591,000	21,261,740	329,260	98.48%	154,500	15,000	116,400	238,050	3,000	6,000	22,592	1,026,100	9,233,500	7,345,558	3,088,621	
助成金等収入 民間助成金																
当期収入合計	33,091,000	31,745,740	1,345,260	95.93%												
I 経常支出の部																
事業費																
調査・研究事業費																
会場使用料	3,405,070	2,006,396	1,398,674	58.92%	205,370	149,217	371,900	217,189	364,929	60,421	26,570	93,160	517,640			
事務消耗品費	599,000	277,930	321,070	46.40%	25,865	74,818	23,812	45,711	70,093		16,123	3,417	18,091			
交通宿泊費	2,343,000	1,748,820	594,180	74.64%	562,284	155,850	76,584	264,356	293,366	123,420	80,960	144,920	47,080			
謝礼等	1,846,000	947,188	898,812	51.31%	11,023	55,000	221,370	272,055	110,685				277,055			
印刷費	184,000	51,417	132,583	27.94%		7,390	13,871	240	9,814		5,857	3,720	10,525			
会議費	400,000	395,952	4,048	98.99%	19,245	4,200	12,400	218,460	140,663			984				
通信運搬費		11,373	-11,373		8,833	740		1,800								
雑費	867,500	282,100	585,400	32.52%	17,160	49,309	12,834	17,674	35,274	5,044	3,380	20,575	120,850			
外部委託費	130,000	451,080	-321,080	346.98%				125,000					240,000			
研究開発費	105,000		105,000													
教育・普及事業費	9,879,570	6,172,256	3,707,314	62.47%	849,780	496,524	857,771	1,037,485	1,110,904	188,885	132,890	266,776	1,231,241			
会場使用料	1,752,000	2,007,844	-255,844	114.60%										公開セミナー	2,007,844	
事務消耗品費	188,000	249,695	-61,695	132.82%											249,695	
交通宿泊費	2,265,000	2,426,987	-161,987	107.15%											2,426,987	
謝礼等	4,232,060	3,145,620	1,086,440	74.33%											3,145,620	
印刷費	406,000	67,366	338,634	16.59%											67,366	
会議費	190,000	485,877	-295,877	255.72%											485,877	
通信運搬費		370	-370												370	
雑費	98,000	94,493	3,507	96.42%											94,493	
研究開発費																
支援・助言事業費	9,131,060	8,478,252	652,808	92.85%												
会場使用料	40,000	44,550	-4,550	111.38%											ファシサポ	44,550
事務消耗品費	32,000	17,495	14,505	54.67%												17,495
交通宿泊費	2,130,000	2,379,629	-249,629	111.72%												478,668
謝礼等	2,500,000	2,956,959	-456,959													1,486,758
印刷費	30,000	159,412	-129,412	531.37%												159,412
会議費	3,000	3,000														
通信運搬費		15,190	-15,190													2,080
雑費	238,000	32,556	205,444	13.68%												32,556
研究開発費	4,973,000	5,605,791	-632,791	112.72%												
交流・親睦事業費																
会場使用料	995,000	219,197	775,803	22.03%	北海道	東北	東京	中部	関西	中国	九州	グローバル				
事務消耗品費	130,000	19,204	110,796	14.77%		8,720		44,780	165,697							
交通宿泊費	1,080,000	134,004	945,996	12.41%		12,086		1,348	5,770							
謝礼等	649,000	111,370	537,630	17.16%		55,772		14,420	63,812							
印刷費	146,000	25,953	120,047	17.78%			6,688	7,839	11,426							
会議費	101,000	5,240	95,760	5.19%			5,240									
雑費	304,000	60,421	243,579	19.88%		8,001		370	17,153			34,897				
外部委託料	163,000	194,700	-31,700	119.45%					194,700							
事業予備費	3,568,000	770,089	2,797,911	21.58%		96,507		180,127	458,558			34,897				
事業費計	29,551,630	21,026,388	8,525,242	71.15%												
管理費																
広報費	468,000	55,000	413,000	11.75%	事務局	システム	広報	詳細								
交通宿泊費	6,140,000	7,062,562	-922,562	115.03%	6,557,760	280,242	224,560	プレスリリース(事務)WEBサイト年間維持費(WEB) 理事会、事務局								
謝礼等	1,010,000	556,362	453,638	55.09%	464,103	56,518	35,741	理事会等会場費 名刺代、その他備品消耗品								
会議費	50,000	189,014	-139,014	378.03%	159,561		29,453	郵便、電話、Zoom使用料								
通信運搬費	101,000	657,172	-556,172	650.67%	515,057		142,115	JVOAD、シーズ、日本NPOセンター、広島NPOセンター NL発送経費他								
諸会費	90,000	51,100	38,900	56.78%	51,100			封筒 NL印刷費用 (今期から事務局経費として計上)								
雑費	547,000	84,060	462,940	15.37%	84,060			会計事務、税務、決算、法務、決済サービス利用(発送含)、登記他(事務)								
資料印刷費	675,000	932,103	-257,103	138.09%	311,472		620,631	振込手数料、EB使用料、会費払込手数料 家賃、倉庫(中部、関西)、セミナー倉庫代 他								
総会関係費用	700,000							法人税均等割、消費税								
外部委託料	3,973,500	3,501,510	471,990	88.12%	3,281,720		219,790									
支払手数料	500,000	426,805	73,195	85.36%	426,805											
賃料	980,000	1,018,528	-38,528	103.93%	1,018,528											
租税公課	330,000	245,300	84,700	74.33%	245,300											
保険料	55,000	39,841	15,159		39,841											
予備費																
管理費計	15,619,500	14,819,357	800,143	94.88%	13,155,307	336,760	1,327,290									
当期支出合計	45,171,130	35,845,745	9,325,385	79.36%												
I その他資金収入の部																
その他資金収入合計		6,270	-6,270													
その他資金支出合計																
当期収支差額	-12,080,130	-4,093,735	-7,986,395	33.9%												

## 2022年度「特定非営利活動に係る事業」会計貸借対照表

2023年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

科目・摘要	金額（単位：円）		
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金	0		
普通預金 三菱UFJ銀行(経費)	2,332,801		
普通預金 三菱UFJ銀行(継続会費)	739,315		
普通預金 三菱UFJ銀行(新規会費)	602,660		
普通預金 三井住友銀行	11,357,239		
普通預金 三井住友銀行	6,171,520		
普通預金 三井住友銀行	8,693,567		
普通預金 三井住友銀行	9,096,587		
普通預金 楽天銀行	4,568,906		
前渡金	463,600		
未収入金	560,587		
仮払金	36		
流動資産合計		44,586,818	
2 固定資産			
固定資産合計	0		
減価償却累計額	0		0
3 投資その他の資産			
差入保証金	29,580		
投資その他の資産合計		29,580	
資産合計			44,616,398
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払金	3,854,611		
預り金	163,436		
流動負債合計		4,018,047	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			4,018,047
<b>III 正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産		44,692,086	
当期正味財産増加額		△ 4,093,735	
正味財産合計			40,598,351
負債及び正味財産合計			44,616,398

## 2022年度会計財産目録

2023年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

科目・摘要	金額（単位：円）	
<b>I 資産の部</b>		
1 流動資産		
現金預金		
現金 現金手許有高	0	
普通預金 三菱UFJ銀行西新宿支店	2,332,801	
普通預金 三菱UFJ銀行西新宿支店	739,315	
普通預金 三菱UFJ銀行西新宿支店	602,660	
普通預金 三井住友銀行渋谷支店	11,357,239	
普通預金 三井住友銀行渋谷支店	6,171,520	
普通預金 三井住友銀行渋谷支店	8,693,567	
普通預金 三井住友銀行渋谷支店	9,096,587	
普通預金 楽天銀行	4,568,906	
前渡金	463,600	
未収入金	560,587	
仮払金 預金源泉税	36	
流動資産合計		44,586,818
2 固定資産		
固定資産	0	
固定資産合計	0	0
3 投資その他の資産		
差入保証金 レンタルスペース	29,580	
資産合計		29,580
		<u>44,616,398</u>
<b>II 負債の部</b>		
1 流動負債		
未払金	3,854,611	
預り金 講師謝礼源泉所得税	163,436	
流動負債合計		4,018,047
2 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		<u>4,018,047</u>
正味財産		<u>40,598,351</u>

## 2022年度「その他の事業」会計貸借対照表

2023年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

科目・摘要	金額（単位：円）		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	0		
普通預金	0		
流動資産合計		0	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			0
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		0	
当期正味財産増加額		0	
正味財産合計			0
負債及び正味財産合計			0

## 2022年度「その他の事業」活動計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

科 目	金額 (単位:円)		
(資金収支の部)			
I 経常収入の部			
1 会費・入会金収入			
個人会費	0		
法人会費	0	0	
2 事業収入			
物品の斡旋及び販売	0		
役務の提供	0	0	
3 寄付金収入			
個人寄付金	0		
法人寄付金	0	0	
経常収入合計			0
II 経常支出の部			
1 事業費			
物品の斡旋及び販売	0		
役務の提供	0	0	
2 管理費			
管理料等	0		
交通費	0		
事務消耗品	0		
通信費	0	0	
経常支出合計			0
経常収支差額			0
III その他資金収入の部			
その他資金収入合計			0
IV その他資金支出の部			
その他資金支出合計			0
当期収支差額			0
前期繰越収支差額			0
次期繰越収支差額			0

令和4年度の事業報告書ならびに貸借対照表、活動計算書、財産目録を提出いたします。

令和5年4月23日

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会  
会長 竹本 記子



## 監査報告書

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会  
会長 竹本 記子 殿

私たちは、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）の特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会の業務および財産の状況について監査を実施いたしました。

理事の業務執行の状況に関する監査に当たっては、理事会及びそのほかの重要な会議に出席し、必要と認める場合には質問をしました。また、財産の状況に関する監査に当たっては、財務諸表等（活動計算書、貸借対照表、財務諸表の注記及び財産目録）と帳簿や証拠書類等との照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行いました。

監査の結果、理事の職務執行のうち、下記の事項について定款・規程違反があり、適正とは認められませんでした。この違反については、監事の職務が十分に果たせていなかったことも大きな要因であり、お詫びいたします。

また、法人の財産の状況は、NPO 法人会計基準に準拠して、財務諸表等に適正に表示されているものと認められました。

### 記

<法令違反の具体的な事実>

- 理事会議事録における審議事項及び議事の経過の概要及び議決の結果に関する記載が不足している（定款第38条違反）。
- 令和4年4月24日以降開催された理事会議事録が、最長で281日間に渡り議事録が公開されていなかった（運営規程第22条違反）。

なお、上記法令違反については令和5年5月末までには是正する旨、理事会と同意を得ました。

令和5年4月23日

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

監事 足田 恵子 

監事  田 純子 

<第二号議案> 2023 年度事業計画並びに予算について（普通決議：総会に出席した正会員の過半数による議決）

## 2023 年度事業計画書

2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

### 事業計画のポイント

**2023 年度は、FAJ がファシリテーターズターミナルとしてありつづけるためにチャレンジを続けます。**

- ・私たちが社会に対してファシリタティブに関わり、話し合いの好循環を生み出そう。
- ・20 年の歴史ある FAJ だからこそできるファシリテーションの本質の探究をします。

FAJ は「ファシリテーションの普及を通じた多様な人々が協調しあう自律分散型社会の実現」を掲げ、活動を続けてきました。2003 年に NPO 法人として発足し、今年度 20 周年を迎えます。

2022 年度は、この数年続いていた行動制限が一部緩和され、感染症対策を講じての対面での活動が増えてきました。FAJ でも 3 年ぶりにリアル会場での通常総会と全国イベント「ファシリテーション・サミット」が開催されました。コロナ禍でのオンラインを中心とした活動の中で培った、拠点や普段の活動領域の枠を越えた繋がりを新たな対面の場でも活かしながら、新たな可能性も膨らんだ 1 年だったと思います。

コロナ禍による行動制限の影響などにより、世の中が新しい生活へと変化する中、FAJ の活動が変わらず継続されているのは、ファシリテーションが世の中に必要とされるものだという再認識とともに、活動の運営を支え続ける仲間がいるからこそです。20 年間の FAJ の歴史には 3000 人以上の方が関わってきました。この機会に、FAJ に関わった仲間感謝し声を響き合わせ互いを讃え合いましょう。そして 20 年の歴史がある NPO 法人の FAJ だからこそできるファシリテーションの普及と探究へのチャレンジと一緒に取り組みませんか。

この 20 年の活動でファシリテーションという言葉は世の中に認知されるものになりました。しかし、世の中の組織のあり方、議論や話し合いはより良いものになってきたでしょうか。まだファシリテーションの本質が伝わっているとは言えず、私たちはさらに学び、思考し、つながり、伝えてゆく必要があるのではないのでしょうか。そのためには私たちひとりひとりが身の回り半径 5m から変えていくことこそ重要です。

新しい生活、DX など、生き方、働き方が大きく変化する中、これからの社会に求められるファシリテーションを行っていくためには、既存の考えを学びほぐし、知恵を出し合い広く境界線を超えていく必要があるのではないのでしょうか。

それぞれの目の前の課題に取り組んでいくために、あらゆる現場で豊かな話し合いが行われるために、私たちはどのように関わればいいのでしょうか。私たちが社会に対してファシリタティブに関わり、話し合いの好循環が生み出されることで人との関わりが面白く、学びが深まり、よりよい成果につながってゆくことでしょう。そして FAJ のあり方、活動の仕方なども必要に応じて変えていきましょう。

今年は日本ファシリテーション協会設立 20 年を迎える記念すべき節目の年となります。

これまでの 20 年に感謝し、今一度ファシリテーションを通じて私たちができることは何か、そして日本ファシリテーション協会が存在する意味を、そして我々にとって必要な変化は何かを考えてみませんか。きっと私たちそれぞれが社会に対して何ができるのか、ひいては自分自身の存在意義を考えることにもつながることでしょう。

以下、重点的に取り組む内容を事業別に記します（括弧内は担当組織を表します）。

## 1 ファシリテーション技術の確立や新しい技術の開発を目指す調査・研究事業

調査・研究事業では、20年間の活動から知見を活かしつつも既存の考えを学びほぐし、ファシリテーションの本質の探究を行っていきます。

### 1) 実践力の相互研鑽の場作りの推進（理事会、各支部運営委員会）

- 過去20年の探究の歴史を踏まえつつ、支部、サロンといったこれまでの活動単位の枠を越え、今一度ファシリテーションの本質を探究し、私達が社会に対してできることは何かを考えていきます。
- 協会内での研鑽にとどまらず、外部団体との定例会共催などの連携活動を通じて、社会の課題解決に取り組んでいきます。

### 2) ファシリテーションの本質を探究（理事会、イベント実行委員会）

- 『「さぎなみ」から「うねり」へ ～響け！共鳴、つなげ！共感～』をコンセプトに、「ファシリテーション・サミット名古屋2023」を開催します。

## 2 ファシリテーター養成や実践方法の普及を目指す教育・普及事業

歴史ある公開セミナー基礎講座を中心に、オンライン開催や実践編の開催拡大を展開していきます。

### 1) 従来の公開セミナーの継続強化（公開セミナー委員会）

- ファシリテーションの普及のため、状況を踏まえながら、コロナ感染症対策版、従来版ファシリテーション基礎講座を全国各地で開催します。アフターミーティングは継続してオンラインにて開催します。
- 開催時の判断フローをもとに、状況に応じて安心して受講できる運営を継続します。
- 質の高いセミナーを継続的に開催できるよう、講師の増員を目指し、講師トライアルの挑戦者を増やしていきます。併せて講師のレベルアップ、セミナーコンテンツの改良も継続します。

### 2) 公開セミナーの新たな展開の検討（公開セミナー委員会）

- オンライン開催の基礎講座は運営体制の磨き上げを図りつつ、3会場6クラスで開催します。
- 公開講座（実践編）は開催を拡大し、5拠点 6クラスで開催します。
- 公開講座（特別編）は2回実施したパイロットをふまえ、上期に今後の開催の方向性を検討する予定です。

## 3 各種団体におけるファシリテーションの活用をサポートする支援・助言事業

社会課題の解決や新しい社会の創造に関わる様々な個人・団体の要請に対して、誠実に向き合い、ファシリテーションにとどまらない支援を行います。

### 1) 社会からの多様な要請に対する支援の充実（ファシリテーションサポート委員会）

- 外部からの問い合わせに対しては、引き続きよろず相談（丁寧なヒアリング）に注力していきます。また、新たな委員およびMF・SFの拡充にも取り組みます。
- 多様な社会課題に対して、FAJならではの支援のあり方を追究していきます。また、委員のコーディネート力を高めるため、情報共有会や勉強会などを行います。
- FAJ内への情報発信として、委員会活動のHPへの掲載や報告会などを開催します。また、各拠点との連携を推進し、定例会へのプログラム提供などの企画を検討します。

### 2) 災害復興、防災・減災に関するファシリテーションを通じた支援（災害復興委員会）

- 災害復興・防災・減災の分野でファシリテーションを活用した支援として、災害発生地域における緊急期および復旧期での会議支援や、復興期でのカフェ・サロン等を開催します。

- 災害復興・防災活動における話し合い支援の人材育成として、板書ボランティア勉強会や、実践者養成講座を開催します。
- 災害復興や防災活動への関心を高めるため、支部・サロン等の拠点でのワークショップを行ったり、FAJ外ではJVOADフォーラム等に参加し、分科会を担当します。

#### 4 ファシリテーターや関連団体間の親睦を図る交流・親睦事業

交流・親睦事業では、各種イベントや関連団体との交流を通じて、FAJ内外のつながりをさらに深めます。

##### 1) 地域イベントを開催（各支部運営委員会、地域イベント実行委員会）

- 各支部におけるイベントの開催により、地域に根差した交流を深めます。さらに地域を跨いだイベントも開催することで、より開かれた交流を図りファシリテーションの普及と探究を一層促進します。

##### 2) 国境や文化・言語を越えてつながる交流・親睦活動の強化

（グローバルファシリテーション推進委員会）

- FAJ内で活性化しているグローバルファシリテーションへの取組みを支援する活動を引き続き強化します。
- 多様な文化・言語を超えたつながりを楽しめる環境づくりを目指します。
- 各支部や協働促進プログラムとの連携により、新たな視点で交流・親睦活動に貢献します。

##### 3) 他団体との連携強化（理事会、各支部運営委員会）

- IAFをはじめとするファシリテーションの普及・研鑽に関わる団体と、パートナーとして協働を進めます。
- 各分野で活動している外部団体とファシリテーションを軸にコラボレーションを進めます。また、FAJ外部のファシリテーターとの連携を深めます。

#### 5 その他事業

FAJ20年の歴史を振り返り、新しい未来に向けて既存の境界線を越えていく一歩を踏み出します。

##### 1) 共通の目的を有する会員・各種団体との価値創出（協働促進プログラム）

- 会員の「自分起点」を軸とする、会員同士・会員と他団体、地域・社会との協働の機会創出に向けて、今年度も試行プロジェクトを継続実施します。プログラムの仕組み整備やマネジメントオフィス活動の充実化をさらに進めます。年度内にプログラムの検証を行い、次年度の正式な活動開始を目指します。

##### 2) 20周年をきっかけとした取り組み

- 20周年にあたり「FAJの今の活動を伝える小冊子」を作成します。
- 2022年1月の拡大理事会で生まれた新たなアイデアの実現に取り組んでいきます。

#### 6 広報・コミュニケーション活動

FAJが活動してきたこの20年を振り返り、FAJの価値を伝える情報発信の強化を目指します。

##### 1) FAJ内への情報発信の強化（理事会、広報委員会）

- 会員やフェローの声を発信するなど、ニューズレターコンテンツを充実させていきます。また、積極的に動画を取り入れるなど、HPの構成や内容を充実させます。
- 昨年度から開始した広報委員会主催による文章力講座の継続開催を検討します。

## 2) FAJ 外への情報発信の強化（広報委員会）

- FAJ外に向けて積極的な広報活動について検討・実施します。そのために、動画コンテンツ（ファシリテーション実技や、アイスブレイクなど）の制作を検討します。読書カフェなど広報委員会主催の企画に参加した非会員に向けてのFAJの情報発信を検討強化します。

## 7 ミッション及び組織運営に関わる活動

ファシリテーターズターミナルとしてありつづけるために、持続可能な取り組みとして、今の組織構造を客観的に捉えて組織を考え直します。

### 1) 組織のあり方の検討（理事会、各拠点、事務局）

- 新たに作成したビジョンステートメントを、作成プロセスで得られた会員の想いと共に伝える活動を行います。
- FAJの現状の課題を客観的に明らかにし、組織構造からの見直しを外部ファシリテーションの支援も受け、進めていきます。
- FAJの変化の象徴としてロゴの変更を検討します。

### 2) 運営のやり方の検討（理事会、各拠点、事務局）

- 会員減少、活動縮小などによる収入減少、組織の継続的な維持のための管理コストの増加から来る収支構造の悪化への対策を検討します。
- 各拠点が組織全体を意識した活動にするために、「拡大理事会」、20周年を契機にした「スタッフ会議」などのコミュニケーションの場で、組織の問題を共有し、共に組織全体を意識した拠点活動を考えていきます。
- 会計業務を着実に運用していくために、業務改善をさらに推し進めます。

### 3) 拠点運営のサポートの充実とデジタル化の推進（デジタル推進委員会）

- データベースの整理と活用に向けた検証を実施します。運用の効率化をめざし、ツール導入に向けた検証を実施します。定例会レポート等のデータベース整理、活用に向けた検証を実施します。
- 引き続き各拠点のデジタル化の支援を行い、組織横断で入り、連携を推し進めます。

### 4) 各種制度改正への対応（理事会、事務局）

- FAJとしての活動を維持・向上させるために、NPO法人に関連する各種の制度改正への対応を行います。

## <FAJ ビジョン 4.0>

- わくわくした気持ちを持ち寄りつながることで、多彩な志の実現に活かす場ができている
- 違うとちがうが響き合い、互いをたたえあっている
- あらゆる場でしなやかにふるまい、出番をつくっている
- 豊かな話し合いの好循環が広がり、人との関係を楽しんでいる

以下、計画の詳細について記載します。

## 【A】特定非営利活動にかかる事業

### 1. 調査・研究事業

事業内容	実施時期	実施場所	従業者	受益対象者
北海道支部 定例会	定例会は、リアル開催及びオンライン開催をバランス良く計画して開催していきます。また、北海道支部独自のコンテンツを作成していますので、他支部との交流と併せて話題提供する計画です。			
	通年 (11回)	北海道	33名 (3名×11回)	会員330名、一般33名 (会員30名＋一般3名)×11回
東北支部 定例会	仙台以外での定例会を開催し、いろいろな人たちとの出会いから得られる気づきや視点でファシリテーションの探求や学び合う場づくりを行っていきます。今年も様々なチャレンジでわくわく・ドキドキを楽しみます！			
	通年 (11回)	宮城、山形、青森等	44名 (4名×11回)	会員180名、一般60名 年間12回
東京支部 定例会	①リアル定例会の割合を増やし、定例会参加者ならびに企画者増を見込む。 ②汎用的な内容だけでなく、特定の分野向け（例：キャリアコンサルタント向け）の企画にも取り組み、定例会を多様な会員のニーズに応えるものとする。			
	通年 (11回)	東京・神奈川・千葉・埼玉・群馬等	158名 (18名×6回) (10名×5回)	会員825名、一般105名 (会員75名＋一般5名)×6回 (会員75名＋一般15名)×5回
中部支部 定例会	2023年度の中部支部定例会は、原則第3土曜日、月1テーマ以上、「調査研究」「研鑽」の枠組みは無くすことにします。そして計画的にテーマを決めて実施します。その中で「学び」「初心者向け」のテーマは取り入れていきます。			
	通年 (11回)	愛知	66名 (6名×11回)	会員440名、一般77名 (会員40名＋一般7名)×11回
関西支部 定例会	多様な仲間とオモロい渦を生み出し続け、さらに大きなうねりへ。 FAJ内外の方々との「つながり」「協働」を拡げ、育みながら、ファシリテーションを探究し、社会へのインパクトをもたらす場をともに作りあげる。			
	通年 (11回)	大阪・京都・兵庫	132名 (12名×11回)	会員550名、一般88名 (会員50名＋一般8名)×11回
中国支部 定例会	地域のコミュニティーと協働しリアルとオンラインを織り交ぜながら広島市外にも活動の場を広げ、屋内外で定例会やイベントを実施。より身近で親しみやすい場を創りファシリテーションの魅力を届けるアンテナショップを目指します。			
	通年 (7回)	オンライン/広島他	35名 (5名×7回)	会員105名、一般21名 (会員15名＋一般3名)×7回
九州支部 定例会	新しい支部長のもと、「年間で活動を見通していける支部へ」、「より柔軟な発想・育成マインドのある支部へ」。 メンバーが、フォロワーシップを発揮して、支部活動を盛り上げていきます。			

	通年 (11回)	福岡	33名 (3名×11回)	会員330名、一般66名 (会員30名+一般6名)×11回
サロンサポート	—	地域型12カ所 テーマ型4カ所	—	—

## 2. 教育・普及事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者	受益対象者
公開セミナー	通年 (38クラス)	東京・大阪・愛知・ 広島・福岡等	190名 (5名×38クラス)	会員304名、一般456名 (会員8名+一般12名)×38クラス

## 3. 支援・助言事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者	受益対象者
ファシリテーション サポート委員会	通年 (30回)	全国	60名 (2名×30回)	一般900名 (一般30名×30回)
災害復興委員会	通年 (30回)	全国	60名 (2名×30回)	一般900名 (30名×30回)

## 4. 交流・親睦事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者	受益対象者
グローバル ファシリテーション 推進委員会	未定	未定	5名	不特定多数
地域イベント	未定	札幌	—	—
	未定	仙台	—	—
	未定	東京	—	—
	未定	名古屋	—	—
	未定	大阪	—	—
	未定	広島	—	—
	未定	福岡	—	—

## 5. その他の総合的な事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者	受益対象者
広報委員会				
ニュースレター	3回	全国	24名 (8名×3回)	会員1,200名
ウェブサイト	通年	全国	20名	不特定多数
メーリングリスト等	通年	全国	20名	会員1,200名

【B】 その他の事業 (未定)

2023年度「特定非営利活動に係る事業」活動予算書

単位＝円

FAJ20周年を機会にコロナ後に向けた活動を模索し・推し進めるため、従来にない赤字予算としています。

今年度は、コロナ禍以前からの収支バランス変化やコロナ禍で大きくなった予実乖離の問題を予算や組織構造を見直すことで、赤字体質の脱却を目指します。

2023年4月1日から2024年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

科目	2023年度予算	予算内訳											
		事務局	北海道	東北	東京	中部	関西	中国	九州	公開セミナー	サミット	ファシサポ	災害復興
<b>I 収入の部</b>													
1 収入													
1 会費収入													
個人会費収入	10,650,000	10,650,000											
法人会費収入													
収入合計	10,650,000	10,650,000											
2 事業収入													
調査・研究事業収入	1,341,000			49,500	36,000	24,000	75,000	20,000	18,000		1,118,500		
教育・普及事業収入	14,262,770									14,262,770			
支援・助言事業収入	4,770,000											4,020,000	750,000
交流・親睦事業収入	1,951,500		160,000	228,500	500,000	230,000	450,000	90,000	293,000				
収入合計	22,325,270		160,000	278,000	536,000	254,000	525,000	110,000	311,000	14,262,770	1,118,500	4,020,000	750,000
3 寄付金収入													
個人寄付金													
法人寄付金													
4 助成金等収入													
民間助成金	2,300,000												2,300,000
収入合計	2,300,000												2,300,000
収入合計	35,275,270	10,650,000	160,000	278,000	536,000	254,000	525,000	110,000	311,000	14,262,770	1,118,500	4,020,000	3,050,000
<b>II 支出の部</b>													
1 事業費													
調査・研究事業支出													
会場使用料	3,555,720		246,320	130,000	1,180,000	300,000	545,000	175,000	175,000		634,400	170,000	
事務消耗品費	425,000		20,000	60,000	100,000	70,000	70,000	10,000	28,000		50,000	17,000	
交通宿泊費	3,010,000		525,000	210,000	550,000	200,000	300,000	250,000	200,000		250,000	525,000	
謝礼等	1,949,000		112,000	112,000	520,000	200,000	200,000	50,000	150,000		605,000		
印刷費	145,000		15,000	22,000	36,000	20,000	10,000	10,000	12,000		20,000		
会議費	350,000		45,000	30,000	25,000	35,000	130,000	50,000	35,000				
雑費	544,397		30,000	35,000	100,000	40,000	43,000	50,000	24,000		222,397		
外部委託料	210,000				60,000	10,000	90,000	50,000					
研究開発費	30,000												30,000
教育・普及事業支出	10,219,117		993,320	599,000	2,571,000	875,000	1,388,000	645,000	624,000		1,781,797	712,000	30,000
会場使用料	2,270,000									公開セミナー		サロン・プロジェクト詳細	
事務消耗品費	280,000											【サロン：(地域型)12+1(新設予備) / (テーマ型)4】会場	
交通宿泊費	3,500,000											使用料(各0.1万*17)、事務消	
謝礼等	5,290,080											耗品費(各0.1万*17)、交通消	
印刷費	650,000											泊費(地域型、テーマ型:各3	
会議費	280,000											万*16、沖縄:4.5万)	
雑費	900,000											【プロジェクト:1(新設予備)】	
外部委託料	100,000											研究開発費(3万)	
支援・助言事業支出	465,000												ファシサポ
会場使用料	81,000												45,000
事務消耗品費	4,510,000												22,000
交通宿泊費	3,780,000												1,050,000
謝礼等	40,000												2,600,000
印刷費	8,000												40,000
会議費	198,000												8,000
雑費	9,082,000												2,000
交流・親睦事業支出													196,000
会場使用料	1,075,000		北海道	東北	東京	中部	関西	中国	九州	グローバル			3,719,000
事務消耗品費	110,000		100,000	65,000	230,000	230,000	300,000	80,000	60,000	10,000			5,363,000
交通宿泊費	850,000		100,000	10,000	30,000	10,000	15,000	10,000	25,000				
謝礼等	810,000		160,000	50,000	50,000	40,000	100,000	100,000	50,000	300,000			
印刷費	114,000		56,000	56,000	56,000	112,000	200,000	30,000	100,000	200,000			
会議費	83,000		14,000	20,000	30,000	10,000	20,000	10,000	10,000				
雑費	219,000		5,000	20,000	24,000	10,000	10,000	10,000	4,000				
外部委託料	230,000		15,000	40,000	50,000	20,000	25,000	5,000	4,000	60,000			
その他事業支出	3,491,000		415,000	261,000	500,000	447,000	750,000	255,000	293,000	570,000			
会場使用料	130,000		20周年事業費詳細							協働促進			
事務消耗品費			小冊子作成70万							130,000			
交通宿泊費	945,000		ビジョンワーク25.5万							945,000			
謝礼等			出前授業80万										
印刷費	1,775,000	1,775,000											
会議費	1,000,000	1,000,000											
雑費	3,850,000	2,775,000											
20周年事業費										1,075,000			
事業予備費	39,912,197	2,775,000	1,408,320	860,000	3,071,000	1,322,000	2,138,000	900,000	917,000	14,915,080	1,781,797	4,431,000	5,393,000
事業費計													
2 管理費													
事務局		デジタル	広報										
広報費	300,000	200,000	100,000										
交通宿泊費	5,042,500	3,400,000	460,000	1,182,500									
謝礼等	30,000		30,000										
会議費	1,735,000	1,500,000	195,000										
事務消耗品費	50,000	50,000											
通信運搬費	173,100	86,000	87,100										
諸会費	95,000	95,000											
雑費	82,500		10,000										
資料印刷費	875,000	75,000	72,500										
総会関係費用			800,000										
外部委託料	5,326,300	3,634,200	390,000	1,302,100									
支払手数料	500,000	500,000											
賃借料	1,007,840	1,007,840											
租税公課等	330,000	330,000											
保険料等	55,000	55,000											
管理費計	15,602,240	10,933,040	1,142,100	3,527,100									
支出合計	55,514,437												
当期収支差額	-20,239,167												
前期繰越収支差額	40,592,081												
次期繰越収支差額	20,352,914												

<第三号議案> 2023年度役員を選任について

(普通決議:総会に出席した正会員の過半数による議決)

1. 2023年度の理事候補者 (敬称略、再任、新任で50音順)

再任 柿原 寿人

再任 河野 恵

再任 小堀 誠也

再任 斉藤 俊哉

再任 津田 壮彦

再任 水江 泰資

新任 伊波 あゆみ

新任 小林 政文

新任 田代 翼

新任 山田 真司

2. 2023年度の監事候補者 (敬称略、再任、新任で50音順)

再任 岡田 純子

新任 野口 和裕